



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年8月9日

上場会社名 株式会社スパンクリートコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 5277 URL <http://www.spancretecorp.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浮田 聡  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 井上 卓郎 TEL 03-5689-6311  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	727	△21.8	△27	—	△19	—	△7	—
2019年3月期第1四半期	930	△12.0	33	△80.3	41	△76.6	36	△69.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△0.95	—
2019年3月期第1四半期	4.73	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,961	6,580	82.7
2019年3月期	8,184	6,690	81.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 6,580百万円 2019年3月期 6,690百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	1,606	△23.5	△3	—	7	△90.1	6	△90.2	0.77
通期	3,644	△13.4	160	△33.2	180	△31.0	152	△45.6	19.50

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	9,332,400株	2019年3月期	9,332,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,535,819株	2019年3月期	1,535,819株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	7,796,581株	2019年3月期1Q	7,720,481株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業務等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、雇用環境及び企業収益の改善が続き、個人消費に回復の兆しが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しておりますが、海外における米中間の貿易摩擦や英国によるEU離脱問題などにより世界経済全般に先行き不透明な状況が続いております。

この間、建設業界におきましては、東京オリンピック関連工事は一段落ついたものの、資材価格・エネルギーコスト・輸送価格は引き続き高騰し、建設技能労働者不足により労務単価の高止まりしている市場環境が続いております。

このような状況下で当社の当第1四半期累計期間の業績は、オリンピック関連工事の出荷は前期で終了し、北陸新幹線延伸による防音壁や高層マンションの床等の受注は増加傾向にあるものの、工事の本格化は来期以降となるため、売上高727百万円(前年同四半期比21.8%減)、営業損失27百万円(前年同四半期は33百万円の営業利益)、経常損失19百万円(前年同四半期は41百万円の経常利益)、四半期純損失7百万円(前年同四半期は36百万円の四半期純利益)となりました。

事業別にみると、主力のスパンクリート事業は、オリンピック関連工事の出荷は前期で終了し、北陸新幹線延伸による防音壁や高層マンションの床等の受注は増加傾向にあるものの、工事の本格化は来期以降となるため、売上数量が前年四半期比50.3%減少しました。その結果、売上高は648百万円(前年同四半期比23.9%減)、営業損失60百万円(前年同四半期は4百万円の営業損失)の減収減益となりました。

他方不動産事業は、オフィスビル4棟の賃料収入が安定収益源となっておりますが、賃貸している岩瀬工場の過去の廃材処理費3百万円及び茅場町駅前ビルの設備修繕費2百万円を計上したため、売上高78百万円(前年同四半期比1.4%増)、営業利益33百万円(前年同四半期比12.9%減)となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ223百万円減少して7,961百万円となりました。

流動資産は、179百万円減少しておりますが、これは主として、現金及び預金が307百万円増加、売上債権が481百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、43百万円減少しております。

流動負債は、104百万円減少しております。これは主として、買掛金11百万円減少、一年内返済予定の長期借入金25百万円減少、未払法人税42百万円減少、賞与引当金18百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、8百万円減少しております。

純資産につきましては、期末配当により77百万円減少したこと等から110百万円減少し、6,580百万円となり、この結果、自己資本比率は82.7%(前事業年度末81.7%)となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2019年5月15日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	751,217	1,058,889
受取手形	4,714	64,327
売掛金	1,595,882	1,063,844
完成工事未収入金	20,649	11,988
有価証券	285,000	285,000
商品及び製品	126,328	113,386
仕掛品	6,998	2,467
未成工事支出金	3,981	9,400
原材料及び貯蔵品	66,130	56,756
その他	31,311	46,569
流動資産合計	2,892,215	2,712,629
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,089,854	1,103,143
機械及び装置(純額)	201,456	190,155
土地	3,052,641	3,052,641
その他(純額)	96,198	92,709
有形固定資産合計	4,440,151	4,438,649
無形固定資産	96,149	90,477
投資その他の資産		
投資有価証券	691,213	655,465
その他	64,683	64,027
投資その他の資産合計	755,897	719,493
固定資産合計	5,292,198	5,248,620
資産合計	8,184,413	7,961,249
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	54,784	43,327
工事未払金	69,424	63,150
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	59,300	33,875
未払法人税等	48,170	5,561
賞与引当金	38,740	20,460
その他	252,641	252,082
流動負債合計	1,023,060	918,456
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	204,782	204,782
その他	266,180	257,750
固定負債合計	470,963	462,532
負債合計	1,494,023	1,380,989

## (株)スパンクリートコーポレーション(5277) 2020年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,295,906	3,295,906
資本剰余金	3,010,369	3,010,369
利益剰余金	477,966	392,629
自己株式	△353,097	△353,097
株主資本合計	6,431,143	6,345,806
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	251,579	226,786
土地再評価差額金	7,667	7,667
評価・換算差額等合計	259,246	234,453
純資産合計	6,690,389	6,580,260
負債純資産合計	8,184,413	7,961,249

(株)パンクリートコーポレーション(5277) 2020年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	930,316	727,276
売上原価	732,104	596,963
売上総利益	198,212	130,312
販売費及び一般管理費	164,317	157,426
営業利益又は営業損失(△)	33,895	△27,113
営業外収益		
受取利息	1,739	1,821
受取配当金	5,194	4,790
仕入割引	693	711
その他	1,600	973
営業外収益合計	9,228	8,296
営業外費用		
支払利息	911	805
その他	564	—
営業外費用合計	1,475	805
経常利益又は経常損失(△)	41,647	△19,622
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	41,647	△19,622
法人税等	5,153	△12,251
四半期純利益又は四半期純損失(△)	36,493	△7,371

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上 額 (注)
	スパンクリート 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	852,722	77,594	930,316	—	930,316
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	852,722	77,594	930,316	—	930,316
セグメント利益又は損失 (△)	△4,126	38,021	33,895	—	33,895

(注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上 額 (注)
	スパンクリート 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	648,591	78,684	727,276	—	727,276
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	648,591	78,684	727,276	—	727,276
セグメント利益又は損失 (△)	△60,241	33,127	△27,113	—	△27,113

(注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。



3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。